

# くらき永田保育園便り



23回目の餅つきも大勢の保護者の皆さんのお手伝いもあり楽しく行うことが出来ました。コロナ禍以降食事を伴う季節の行事や体験が気軽にできる風潮でなくなっています。一方、こどもたちにとってはカラダとココロを動かしながらの五感を使ったリアルな経験は確実にこどもの中に沁み込んでいるようです。保育園は「昼間のお家」として昨年以上に“こどもの暮らし”を大切に保育を進めていきたいと思えます。

## コッコロジョカーレ

来週の小さな表現者展には”コッコロジョカーレ“という副題がついています。各クラスから「こどもたちのこんな表現活動を保護者の皆さんと共有したい」という話を聞いていた中で、浮かび上がった言葉です。表現活動という言葉を知ると、大人はついつい「作品」や「製作物」をイメージしてしまいがちですが、そのような目的を持った表現活動以上に楽しいのが、遊んでいるそれ自体が表現活動になっている時です。

また、保育士が様々な表現技法を子どもたちに教え込んでいけば見た目な立派な作品をお見せすることもできなくはありませんが、そのことで逆に子ども自身の「表現したい!」といった気持ちを阻害してしまうこともあります。さらにあらゆる表現活動は他人から「上手・下手」といった評価をされるべきものではないというのがくらき永田保育園の基本的なスタンスです。

コッコロジョカーレというのは「こどもの遊び」という意味があります。身近な素材や環境に自ら働きかけて楽しんできた軌跡を是非お楽しみください。

## おむつ考

くらき永田保育園では紙おむつよりも環境負荷が少ないこと、また、こども自身が「おしっこが出た＝濡れて気持ち悪い」という感覚を育むという視点で布おむつを活用していますが、手ぶら登園の仕組みもできてきた現在、こどもにとって何が良いのだろうか？を職員間で議論しています。

業務省力化といったことよりも、排せつという行為に保育士がどのように関わっていくことに意味があるのかという視点を大切に意見をまとめ報告したいと思えます。

## 保育園からのお知らせとお願い

- ① 今年も3月31日(月)に次年度準備を行いますので、18時30分までの保育(時間延長サービスがありません)となります。年度末のお忙しい時期ではありますが、保育園運営にご協力をお願いします。
- ② 第三者評価のアンケートにご協力いただきましてありがとうございます。今後結果ができましたらご報告いたします。

# 各クラスの様子をお伝えします！

## にこにこ



にこにこ組では6月にふれあいデーを、11月には懇談会を開催しました。

私達は、このような保護者の皆さんと直接ゆっくりお話しできる機会をととても楽しみにしています。懇談会では、多くの家庭で離乳食にレトルトを活用されていて、お買い物情報などが共通の話題となりました。

一昔前は、離乳食は作り置きしたり、家族の食事を作りながら取り分けたりするイメージがあったのですが、レトルトが買い置きしてあれば、いつでも安心してこどもに食べてもらうことができることに、改めて気付きました。

食事を含む生活の進め方や思いは家庭によって異なります。

皆さんの思いや工夫を教えていただきながら、こども達にとって、園と家庭が繋がって安心して過ごせる場所になるように一緒に考えていきたいです。

表現者展で皆様とたくさんお話しできることを楽しみにお待ちしております。



## よちよち

朝の忙しい時間の中、記入していただいている電子連絡帳でのやり取りではこどもたちの新たな魅力や家庭での様子を知ることができています。

例えば、「お家でこんなことがありました」「ご飯を食べないんです」「なかなか寝なくて…」など保育園でのその子との関わり方を伝えることが、何かのヒントになっていると嬉しいです。

今困っていることや、ブームを教えていただくことで保育園でのこどもたちへの新しいアプローチ法を見つけるきっかけにもなっています。

それだけではなく、お家での面白エピソードもこどもたちの姿を思い浮かべながらホッコリさせていただいています。

送迎時に短時間ですが、保護者の皆さんと雑談することが嬉しいです！

表現者展ではこどもたちの展示を眺めながらたくさんお話しできるのを楽しみにしています。



# すくすく

保育園での一日が終わり、帰りの引き渡しは、保護者の方とゆっくりとお話ができる大切な時間です。

すくすく組では、保育室の前にその日の保育園での写真を掲示しています。

引き渡しの際に、その日の出来事を保護者の方にお伝えすると、こどもたちの方から「これだよ！」と写真を紹介してくれる姿もあります。

写真を見ながら、こども達そして保護者の方たちと一緒にお話できている時がとても嬉しい時間です。そこから「お家でもこんな姿があります」や「最近はこんな遊びが好きです」などと色々なお話を聞かせてもらえたりすることも多くあります。

これからも、園で楽しかった出来事をこどもたちも交えながら保護者の方とたくさんお話していけたら嬉しいです。お家でのこどもたちの様子もぜひお聞かせください。



# 異年齢

「保育の中ではこどものちょっとした発言などがきっかけとなって「〇〇ブーム」が到来することがあるのですが、最近では「魚」です。始まりはいきいきの「(秋に)さんまが食べたい」という一言で、保育士が「誰か魚を釣れる人がいないかな?」と話す「僕のお父さん釣れるよ!」との声。

そこで、保護者の方に話しをしてみると「普段は釣りをしていないくて仕事の付き合いだったんですよ。機会があれば持ってきますね」と言っていました。そして数日後…なんと魚を持ってきてくれました。

しかもたくさん本物のアジに、こどもたちは大喜びでした。目の前に出すとすぐに触ってみたい「僕のパパが釣ったんだよ」と得意気に話していました。

そこから、魚の名前を調べてたり写真を見ながら絵を描くことを楽しむことが増えていきました。

また、いきいきから始まった魚ブームは、のびのびとわくわくにも広まり、1月16日にお魚博士が来てくれたことで、さらに魚に対する興味が高まっています。今では魚に詳しい子どもが増えています。

保護者の方が日頃から保育に対しても温かい関心を持ってくださっているからこそ、本物の魚に触れる経験でこどもたちの喜ぶ顔が見れました。

いつも保育にご協力いただき本当にありがとうございます。



## 給食室

2月2日は節分です。節分は立春の前日で、冬から春への季節の節目を意味します。この季節の変わり目は、特に体調を崩しやすく、悪い気・邪気（鬼）を追い払うために、豆をまく習慣ができたそうです。

豆まきに使われる大豆は「畑の肉」と呼ばれるほど、たんぱく質が多く、その他にも、カルシウム・鉄分・ビタミンEなどが含まれています。これらの栄養素は現代人に不足しがちな栄養素であり、それを一手に補える大豆って実はすごいんです。

保育園では、3日に節分メニューとして大豆ハンバーグをだしますが、大豆は煮てもサラダにいれても美味しいので、ぜひ、おうちの食事にも大豆を使ってみてください。

## 遊言係

月に一度の久保先生の『わらべうた』。年齢だけでなくクラスの子どもたちの様子に合わせて、オーガンジーやお手玉を使うもの、指先や全身を動かせるもの、友だちと一緒に二人以上で行うもの、役交代等ルールのあるものなどを各担任がリクエストして教えてもらっています。

乳児クラスは、日常の中で担任が歌って遊び、異年齢クラスでは、運動会や発表会でも楽しみました。最近では、『兄の歌に合わせて妹がオーガンジーを振って二人で楽しんでいます』といったエピソードを保護者から聴くこともでき、改めて、〈大人と子ども〉だけでなく〈子どもと子ども〉を繋ぐ遊びの一つなのだと感じました。

久保先生はわらべうただけではなく、12月の異年齢クラスで紙芝居に合わせたピアノの生演奏を聴かせてくれます。今年度の異年齢クラスの子どもたちも、普段と違う仕様の演奏付き紙芝居の時間を楽しんでいました。

今年度のわらべうたはあと2回（2/20、3/17）、どんなわらべうたで遊ぶのか、職員も楽しみにしています。

★2/4（火）クーベルチップさんのマルシェがあります。

★3/1（土）今年度最後のTOY活（サッカー教室もあります）を行います。

## 今月の行事

- 3日 節分
- 8日 小さな表現者展
- 15日 布団乾燥



## 来月の行事

- 3日 ひなまつり
- 5日 年長児 お別れ遠足
- 11日 卒園式予行練習①
- 19日 卒園式予行練習② お別れ会
- 21日 卒園式
- 31日 次年度準備のため18時30分で保育終了となります。

